

令和5年度 特別支援学校寄贈物品 使用状況報告書【2年目】

報告日 年 月 日

P T A名		静岡県立清水特別支援学校 P T A				
学校	対 象	<input type="checkbox"/> 視覚障害	<input type="checkbox"/> 聴覚障害	<input checked="" type="checkbox"/> 知的障害	<input type="checkbox"/> 肢体不自由	<input type="checkbox"/> 病弱
	設 置 部	<input type="checkbox"/> 幼稚部	<input checked="" type="checkbox"/> 小学部	<input type="checkbox"/> 中学部	<input type="checkbox"/> 高等部	
	全校児童・生徒数	全校児童・生徒数243人（小学部児童93人）				

1. 使用状況

寄贈物品名	3連低鉄棒
使用学年及び人数	小学部児童1～6年 93名
使用頻度	週2日(昼休み)、不定期(体育や自立活動、遊びの指導など)
使用状況	<ul style="list-style-type: none"> ・休み時間、昼休みなどに使用。 ・体育『鉄棒』の授業で使用。個の目標に応じた種目に取り組む。
物品の使用による変化や効果	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生の身長に合う高さの鉄棒を使用することにより、鉄棒に跳びのる、よじ登ってお腹で支えるなど自分で体を支えることができる児童が増えた。 ・低鉄棒なので、恐怖感も薄れ自分から鉄棒の技に挑戦する児童が増え「できた！」と成就感を味わうことができた。
今後の活用の見通しや課題	<ul style="list-style-type: none"> ・申し込み当初の目的・申請理由である「低学年のうちから鉄棒に取り組むことで、跳び上がりにおける体の負担や恐怖心が減少し、学習への意欲が高まることを期待」については達成している。 ・今後も休み時間の遊具の一つとしても活用することで、年間を通して日常的・継続的に使用していきたい。
その他希望や所感など	<p>学習の中で積極的に取り組んだり、やってみたいと言ったりする児童が増えました。今後も大切に使用させていただきます。ありがとうございました。</p>

2. 活用の様子

自分から鉄棒にぶら下がり、姿勢を保とうとすることができた。



豚の丸焼きの種目も、教師の補助なしで自分で足を持ち上げて足をかけることができる児童が増えた。



飛び上がりが苦手な児童も、自力で鉄棒によじ登り、腕とお腹で自分の体を支えることができた。

